

滋賀県立大学学務事務管理システム利用に係る落札者決定基準

1 評価実施機関

- (1) 評価は「滋賀県立大学学務事務管理システム提案評価委員会」（以下「評価委員会」という）が実施する。
- (2) 評価委員会は、入札参加者から提出された入札書および提案書について、本「落札者決定基準」に基づき、付与する点数の判断を行う。

2 総合評価に関する事項

(1) 評価項目

総合評価落札方式の適用において評価対象とする項目は入札価格および次項の提案要求事項一覧表の「評価項目」とする。

(2) 評価配点

評価にあたっては600点（総合評価点）の範囲内で配点を行い、入札価格による評価点（価格点）と提案書の内容等による評価点（技術点）に区分し、配点をそれぞれ価格点300点、技術点300点とする。

(3) 評価方法

ア 入札価格による評価

- ① 入札価格による評価点（価格点）については次により算出する。（※）

入札価格に対する価格点＝価格点の配布（300点）×（1－入札価格／予定価格）

※ 評価点の算出では小数点第2位を四捨五入する。

- ② 入札価格・予定価格

入札価格および予定価格は、導入費用と、60か月の利用料（保守費等を含む）の総額（消費税および地方消費税を含まない。）とする。

イ 提案書の内容等による評価

- ① 提案書の内容等による評価点（技術点）（「提案要求事項一覧表」の項目については、各項目に記載された配点を上限として採点（ただし、4（2）については要件確認書に基づく採点を加算する。）する。提案書の内容等による評価点（技術点）の合計は300点とする。
 - ② 技術点は採点表に基づき、評価委員会が採点を行い、その平均により算出する。（※）
- ※ 評価点の算出では小数点第2位を四捨五入する。

3 落札者の決定方法

- (1) 下記の要件を全て満たした者で、価格点と技術点の総得点が最も高いものを落札者とする。
- ア 入札説明書（仕様書）において明らかにした性能等の要求要件のうち、要求確認審査で

全ての項目において仕様書の基準を満たした者

イ 導入費用の入札価格が、予定価格で示す導入費用の範囲内であり、かつ、60 か月の利用料の入札価格が、予定価格で示す 60 か月の利用料の範囲内である者

(2) 総合評価点が同点となる入札者が二人以上ある場合は、技術点が高いものを落札者とし、技術点が同点である場合には、入札価格が低いものを落札者とする。なおも落札者が決定できない場合にはくじ引きにより落札者を決定する。くじ引きの実施日時、場所等については別に連絡を行う。

なお、くじを引けない者があるときには、入札執行事務に関係のない職員にくじを引かせるものとする。

4 評価の対象外となる場合

評価委員会事務局の事前の審査の結果、次に該当する場合は、評価委員会による評価の対象外となるとともに落札者決定の対象から除外される。

(1) 仕様書の要求項目のうち、要件確認審査において1つでも実施しないあるいはできないとする項目がある場合

(2) 仕様書で要求水準を定めたものについて、その水準を満たさない場合

(3) 入札価格の導入費用または 60 か月利用料が、予定価格のそれを上回る場合

提案要求事項一覧表

評価項目/評価基準	配点
1【社の経験・能力等】	75
(1) 大学における業務フロー、業務分担を分析し業務の効率化・軽量化のための改善案を検討し、新たな業務プロセスを設計した経験・類似業務の実績が十分と認められるか。	(25)
(2) 本業務を実施するうえで、情報セキュリティおよび個人情報保護に関連する資格を保有しているか。(情報セキュリティに関する認証、その他本業務の実施上有益と思われる資格・認証等)	(30)
(3) プロジェクト管理の経験が豊富なプロジェクトマネージャーと、大学業務とシステムをよく理解したメンバーが配置される体制となっているか。	(20)
2【性能・機能等】	130
(1) 仕様書に記載の多人数の同時アクセスが発生した場合のシステム遅延・システム停止リスク低減について考慮されていれば評価する。	(10)
(2) 教員が積極的にLMSを活用したいと思わせる工夫が見られれば評価する。	(20)
(3) 「ポートフォリオ」「学習の見える化」を意識した学生カルテ、データベースのデータの拡張性等について工夫が見られれば評価する。	(20)
(4) セキュリティ強化による個人情報流出防止に工夫が見られれば評価する。	(50)
(5) 学生が容易に必要な情報を入手することができ、大学として学生サービスの向上に繋がる工夫が見られれば評価する。	(10)
(6) 教員が容易に操作することができ、学生情報を共有することにより学生の個性に応じたタイムリーなサポートが可能となる工夫が見られれば評価する。	(10)
(7) スマートフォン用アプリケーションについて、簡易な入力にも対応可能で、OSIによる機能制限やセキュリティに関して問題なく使用できれば評価する。	(10)
3【その他】	75
(1) 事務の効率化による職員の労力削減が図られる工夫が見られれば評価する。	(10)
(2) 障害発生時に迅速・柔軟に対応できる体制が備わっているか。	(35)
(3) 導入後の機能の拡張性について、考え方が明確で具体的であれば評価する。	(10)
(4) 教員・職員・学生に向けたシステム講習会等について工夫があれば評価する。	(10)
(5) データ移行の移行手順が示され、大学の関与が少なければ評価する。	(10)
4【全体】	20
(1) 特に評価すべき点があれば評価する。	(10)
(2) カスタマイズ	(10)
合計	300